

情報公開文書

課題名：急性期脳底動脈閉塞症に対し経皮的脳血栓回収術を施行した7例

研究期間：臨床研究審査委員会承認日～2026年3月16日

研究開始予定日：臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2021年1月1日～2025年8月31日の期間に当院で急性期脳底動脈閉塞症に対し経皮的脳血栓回収術を受けられた方

2. 研究目的・方法

脳底動脈閉塞症とは、脳幹や小脳に血液を送る「脳底動脈」が血栓などで詰まってしまう状態で、手足の麻痺や意識障害などの症状が出現することがあり、比較的重篤な脳卒中の一つと言われています。これまで血栓を溶かす薬剤(t-PA)の投与や血圧管理、血液が固まるのを防ぐ薬などを使用する保存的治療で経過観察が行われてきましたが、近年では足の付け根や腕の血管からカテーテルを頭の中の詰まった血管まで進めて血栓を直接取り除く治療(経皮的脳血栓回収術)が広まりつつあります。今回、当院において急性期脳底動脈閉塞症に対して経皮的脳血栓回収術を施行した患者さんを対象に、治療後の経過やリスク因子についてとりまとめ、今後の診療に活かしていきたいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報：年齢、性別などの基本情報、発症までの経過、病歴、治療内容、治療後の経過 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は脳卒中学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

浜松医療センター 脳神経外科 平松 久弥(研究責任者)

住所：静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話：053-453-7111(病院代表)